

通学はゆづりだ

①ゆづり-はだつた-だ

学校が帰って来た僕は母に
う叫んだ。北海道は涼しいと
思われて、まず彼は涼しいと
くなる。しかも父は五度近

くもつ北海道も本州と変わら
ない。夏になると来ま

した僕の学校は家から遠く
一キロメートルある。歩くと十分
の道にすぎず。朝通学の時間に
気温が二十五度を越えると、学校

に着いた頃には汗だくです。学校の
時間はおどろきで、ここには
お風呂に入っているみたいです。

③去年の夏は、暑かったり、
つらい。使った。通学した
たが、それと熱いので、通学した

1x61

7. 空浦服を買、2枚に下がる。

[illegible]

空調服とは、工事現場の暑い人達が
電気の熱中症にならないために
風を体に回す服のこと。

ん速^ツが
電気の熱中症にならなために
いどち。

服の回す体にも風を回す

(1) $N \cdot N \rightarrow 0$

服④ 供は今朝の通学から空調

乙未年

服を煮て、
「おっぱい」を「おっぱい」で煮る。

[illegible]

之良に感ず。一一廿、廿五

「あー速く冬にやめなやめなやめー」
と思ひました。

二、田二、田二、田二